

令和6年12月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。これに伴い、報告表記を一部変更しますので取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情ご賢察の上、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。 敬白

***** 記 *****

■新規受託項目

- ・非結核性抗酸菌感受性検査 (SGM) /MIC 測定
- ・迅速発育抗酸菌感受性検査 (RGM) /MIC 測定

セットコード	S253	
	S251	S252
項目名	非結核性抗酸菌感受性検査 (SGM)	迅速発育抗酸菌感受性検査 (RGM)
検査対象薬剤	EB、KM、INH、RFP、CAM、TH、AMK、RBT、MFLX、MINO、DOXY、LZD、STFX、AZM	LVFX、CAM、AMK、MFLX、DOXY、LZD、STFX、AZM、TOB、IPM、FRPM、ST、MEPM、CLF
検査方法	液体培養希釈法	
所要日数	14~20日	
報告形式	MIC値 (μg/mL)	
検査実施料/判断料	400点/150点 (微生物学的検査)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・非結核性抗酸菌感受性検査実施には、MAC 核酸同定 (50073)、又は抗酸菌同定 (50020) による、菌種同定が必要です。 ・検出された抗酸菌に応じて薬剤感受性検査を自動的に選択して実施致します。 ・所要日数に培養日数および増菌などにかかる日数は含まれていませんのでご注意ください。 	

※当検査の受託開始に伴い、現行の非結核性抗酸菌剤セット (S250) は、令和7年3月1日 (土) をもって検査の受託を中止させていただきます。

●非結核性抗酸菌

非結核性抗酸菌は発育の速さによって、遅発育抗酸菌と迅速発育抗酸菌の2つに大別されます。遅発育抗酸菌には非結核性抗酸菌症で検出頻度が高いMAC (M. avium 及び M. intracellulare)、M. kansasii などが含まれます。

迅速発育抗酸菌は主に環境中に存在する菌ですが、ヒトに対する病原性を持つ菌として M. abscessus complex、M. fortuitum、M. chelonae が知られています。なかでも M. abscessus complex は殆どの抗結核薬に耐性を示し、特に難治性です。

■開始期日

令和7年1月14日 (火) 受付分より

裏面につづく

24-1230

■非結核性抗酸菌薬剤感受性検査（迅速菌を除く） ※1

薬剤	測定範囲			
	新 ※2		旧 ※3	
	最低濃度	最高濃度	最低濃度	最高濃度
EB	≦0.5	>16	0.06 以下	128 以上
KM	≦2	>64	0.06 以下	128 以上
INH	≦0.125	>4		
RFP	≦0.125	>4	0.03 以下	32 以上
CAM	≦0.06	>64		
TH	≦0.5	>16	0.5 以下	16 以上
AMK	≦8	>256	0.5 以下	16 以上
RBT	≦0.25	>8	0.008 以下	16 以上
MFLX	≦0.25	>8		
MINO	≦0.5	>16		
DOXY	≦0.5	>16		
LZD	≦2	>64		
STFX	≦0.125	>4		
AZM	≦0.06	>64		

■迅速発育抗酸菌薬剤感受性検査 ※1

薬剤	測定範囲			
	新 ※2		旧 ※3	
	最低濃度	最高濃度	最低濃度	最高濃度
LVFX	≦1	>32	0.03 以下	32 以上
CAM	≦0.06	>64	0.03 以下	32 以上
AMK	≦4	>128	0.5 以下	16 以上
MFLX	≦0.25	>8		
DOXY	≦0.5	>16		
LZD	≦1	>32		
STFX	≦0.25	>8		
AZM	≦0.06	>64		
TOB	≦0.5	>16		
IPM	≦2	>64		
FRPM	≦2	>64		
ST	≦5	>160		
MEPM	≦2	>64		
CLF	≦0.06	>2		

- ※1 不等号を日本語表記から記号に変更します。
 ※2 対象セットコード：S251、S252、S253
 ※3 対象セットコード：S250

以上